

2026年7月1日

20～30代社員が描いた「2050年の好きな未来」 — 大東ガス新理念・長期経営ビジョン発表 —

大東ガス株式会社（代表取締役社長：高嶋 英一、以下「当社」）は、社会構造の大きな転換期を迎える中、企業としての存在意義と将来像を再定義し、新たな企業理念・経営理念ならびに長期経営VISIONを策定いたしましたので、お知らせします。

当社はこれまで、都市ガスを中心としたエネルギー供給を通じ、地域の暮らしを支えるインフラ企業として歩んできました。一方で、脱炭素社会への移行、災害の激甚化、人口減少・高齢化の進行、地域経済の縮小など、地域や当社を取り巻く環境は今後さらに厳しさを増すことが想定されています。

こうした変化に対し、当社は将来の「ありたい姿」を見据え、今回、新たに理念および長期経営ビジョンを策定いたしました。

■未来を描いたのは、若手社員 — “共創型”の理念・ビジョン策定

今回の理念・長期経営ビジョンは、外部アドバイザーを使わず、当社で初めて20～30代の若手社員を中心とした社内プロジェクトが主体となり策定いたしました。

理念を「経営者の言葉」として掲げるのではなく、エネルギー事業者様への直接訪問や社員一人ひとりの声を丁寧に集め、社員自身が2050年の社会と会社の姿を描いたことが大きな特徴です。その過程では、社長・役員・社員・プロジェクトメンバーによる意見交換を重ね、現場で実行できる現実感と、経営としての覚悟を併せ持った理念・ビジョンへと磨き上げていきました。

また、理念を抽象論で終わらせず、インフラ企業として「理念 → ビジョン → 行動指針」まで具体的に落とし込み、社員が自らの行動に結びつけられる設計としています。さらに、「プロジェクト通信」による社内発信やAIを活用した資料・動画制作までを内製で行い、“つくって終わり”にせず、社内のベクトルを揃え、行動へとつなげるところまでをプロジェクトチームでやり切りました。

本理念・ビジョンは、外部アドバイザーに頼らず、若手社員が自ら2050年のありたい未来を描き、理念とビジョンに真剣に向き合い策定いたしました。

「ガス会社」から「地域の暮らしを支えるライフプラットフォーム企業」への明確な転換宣言であり、地域の皆さまとも共創し、将来に亘り地域の発展に積極的に貢献してまいります。

■企業理念

「もっと好きな未来を、私たちのエネルギーで」

本理念に込めた思いは、今ある地域の暮らしを肯定しつつも、さらに「“もっと好きと言える未来を目指す”という意志を描いていこう」、という前向きな挑戦の姿勢と、当社だけではなく「地域の皆さまやお客さま」と一緒にその「好きな未来を創っていく」という姿勢を表現したものです。

また、理念にある「エネルギー」は、ガスや電気といった物理的なエネルギーにとどまらず、人の想い、地域の力、従業員一人ひとりの行動や情熱も含めた、未来を動かすすべての力を、私たちはエネルギーと捉えています。

■ 経営理念

「地域の未来を共創するライフプラットフォーム企業へ」

安定したエネルギー供給を基盤に、「人・企業・暮らし」をつなぎ、未来を共に作っていく「ライフプラットフォーム企業」への進化を目指します。ガス会社という枠にとどまらず、暮らしや人生（ライフ）を広く支え、人や企業、価値が集い、交流し、成長していく存在を描いています。

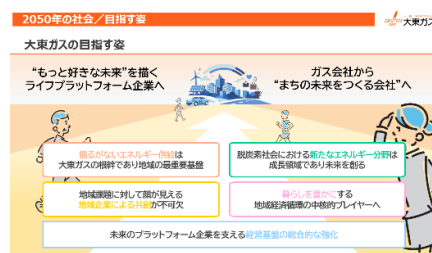
■ 行動指針

「あたりまえを、あたりまえに」 「困ってたら、放っておかない」
「まっすぐ、ちゃんと、ていねいに」 「ちょっとだけ、昨日を超える」
「迷ったら、会いに行こう」 「このまちのために、できることを」

理念やビジョンを日常の行動に落とし込むための具体的な考え方・判断基準として、上記の6つの行動指針を定めました。「何を大切にし、どう行動するべきか」を、従業員全員が共有するための道しるべとしての役割を果たします。

■ 長期経営 VISION

「もっと好きな未来 2050」



当社は、2050年を見据え、“もっと好きな未来”を描くライフプラットフォーム企業を、「ガス会社」から「まちの未来をつくる会社」を目指すために、推進していく4つの事業領域と、強化する5つの経営基盤を掲げ、それぞれの観点において最終到達点や主要なアクションを掲げています。

（1）推進する事業領域

- ① 「コアエネルギー領域」（都市ガスや電力、当社の根幹となるエネルギー事業）
地域の当たり前を支える途切れないエネルギー供給体制の確立
～地域インフラを担う「なくてはならない存在」となる～
- ② 「みらいエネルギー領域」（脱炭素社会を見据えた、新たなエネルギー事業）
地域発の未来エネルギーモデルの確立
～脱炭素社会の実現に貢献するとともに持続可能な成長軸に育てる～
- ③ 「地域ソリューション領域」（官民連携、地域共創など、地域を支える事業）
安心して暮らせる社会を支える共創基盤の確立
～地域の課題解決パートナーとして未来を共にデザインする～
- ④ 「ライフサポート領域」（暮らし、経済を支える非エネルギー事業）
暮らしのワンストップサービスの確立
～地域経済の循環を強め、笑顔あふれるまちを実現する～

（２）強化する経営基盤

「人が育ち・設備が進化し・資金が循環し・知が価値に変わり・仕組みが機能する」経営プラットフォームを実現する

①「ヒト/人的資本」

社員が地域と会社に誇りを持ちエンゲージメントと人的資本が高い組織を実現する

②「モノ/物的資本」

事業環境を支える設備と拠点を DX 等で最適にアップデートし価値を創出する組織を実現する

③「カネ/財務資本」

安定収益と成長投資を循環させ高い収益構造をもつ組織を実現する

④「情報/知的資本」

多様なデータや知見等を知の資産として集約し価値を創出できる組織を実現する

⑤「仕組/組織資本」

経営基盤を最適に動かす仕組みを整え持続的に進化し続ける組織を実現する



当社はこれからも、地域に最も近いエネルギー会社として、一つひとつの取り組みを着実に積み重ねながら、「ここに住んでいてよかった」「この会社があってよかった」と実感していただける未来の実現に向けて挑戦してまいります。

今後とも当社をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（お問い合わせ）

大東ガス株式会社 総務企画部 エネルギー企画課 吉澤 和宏

TEL : 049-268-0801 MAIL : e-kikaku@daitogas.co.jp

（参考）会社概要

会社名 : 大東ガス株式会社（設立：1961年10月）

代表者 : 代表取締役社長 高嶋 英一

所在地 : 埼玉県富士見市西みずほ台 1-2-12

事業内容 : 都市ガス事業、小売電気事業、ガス工事、ガス器具・住宅設備機器の設置、販売など

その他 : 脱炭素社会の推進、再生可能エネルギーの推進、次世代教育など

資本金 : 2億7千万円

従業員 : 195人（2025年3月末現在）

売上高 : 約180億円（2024年度実績）

供給エリア : 埼玉県入間郡三芳町、朝霞市、志木市、富士見市、川口市、新座市、所沢市、入間市
東京都日野市、神奈川県座間市の一部

以上